

# 横暖ルーフα

工 法

新築

下 地

耐水合板

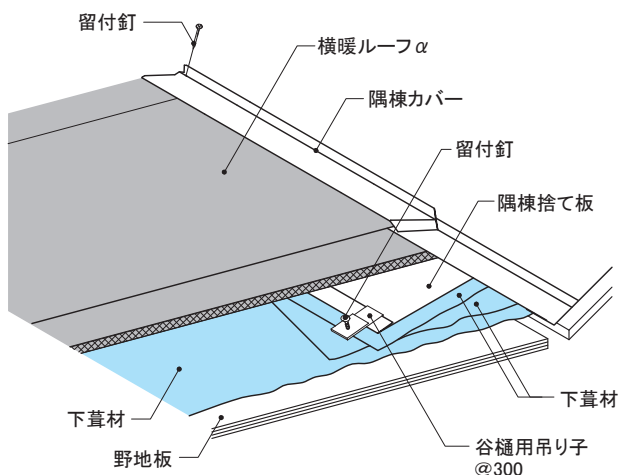
構造

木造

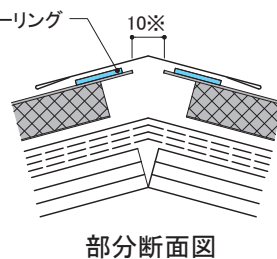
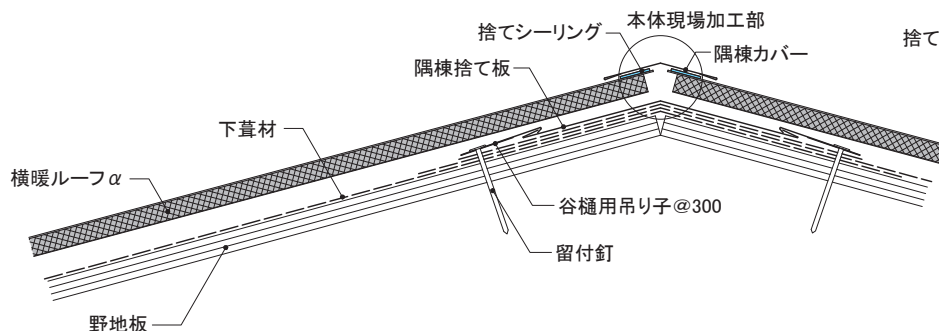
## 7) 隅棟部

## ② 隅棟カバー（隅棟カバー急勾配用）

- 野地板の上に、下葦材を張ります。
- 隅棟部には、隅棟捨て板を谷樋用吊り子で取り付けます。吊り子は、留付釘（ステンレススクリーン釘長さ32mm以上）を用いて、300mm以下の間隔で留め付け、図のように加工した横暖ルーフα本体を施工します。本体施工の際は、隅棟捨て板を避けて施工します。
- 横暖ルーフα本体の切断部から約10mm程度の幅で捨てシーリングを施工します。
- 隅棟カバーは横暖ルーフα本体の接合部に差し込み、留付釘（ステンレススクリーン釘長さ32mm以上）で留め付けます。
- 屋根の勾配が2寸5分以上3寸5分未満は隅棟カバーを使用し、3寸5分以上5寸以下は隅棟カバー急勾配用を使用します。

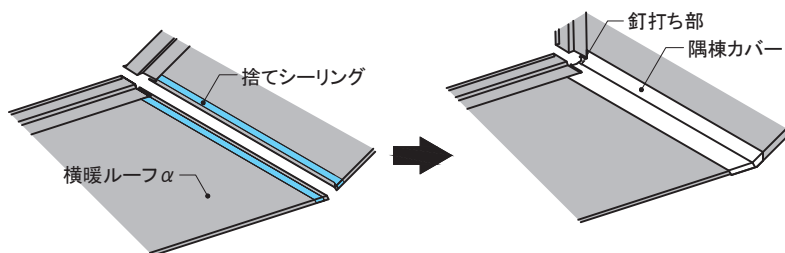


※本体どうしに10mm程度隙間をあける



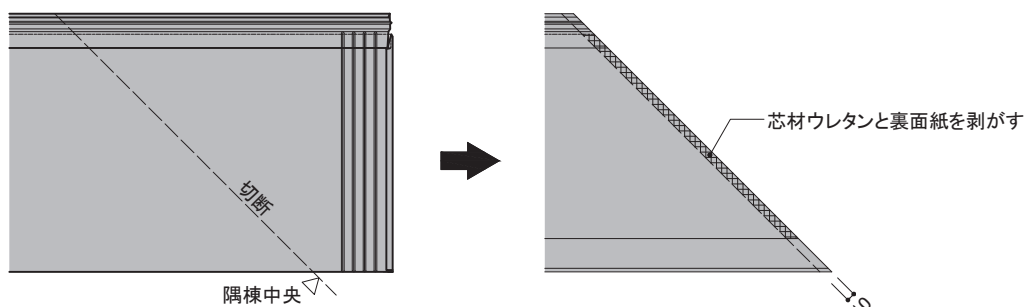
### ■隅棟カバーの取り付け

- ①本体切断部から10mm程度に捨てシーリングを施工します。
- ②隅棟カバーを取り付け、釘打ち部に留付釘（ステンレススクリーン釘長さ32mm以上）で固定します。



### ■施工ポイント・本体現場加工図

- 横暖ルーフα本体の隅棟部分は図のように加工します。



①隅棟中央の位置で切断します。

②端部から10mmの位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。